

C 緑内障に気づかない理由

緑内障の危険なところは、放置すると失明する怖れがあることです。緑内障は中途失明の原因の筆頭であり、この事実が、リスクの大きさを表していると言えます。先にも述べたように、緑内障を発症しても大半の人がそれに気づいていませんが、そのことが治療を遅らせ、失明に至ってしまう大きな要因となっていると言つてもいいでしよう。

緑内障はおおむね両目に発症しますが、進行には左右で差があります。緑内障が進行するにつれて見えにくい部分が増えきますが、多くの場合、かなり進行しないと視力は低下しません。また、視野の欠損があつても、両目で見た場合、左右の目が互いに補完し、脳がイメージを補うため、見えにくい部分がなくなり、一見、正常に見え、異常に気づきにくいのです。

○緑内障は神経障害

緑内障は、主に眼圧（眼球の内側から外側にかかる圧力）の影響で発症します。

